

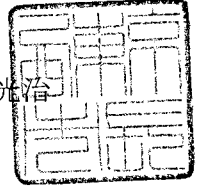
23 西企秘第 413 号

平成 23 年 7 月 1 日

市民自治井戸端会議

代表 柳田 由起子 様

西東京市長 坂口 光治



回 答 書

日頃、西東京市政につきましては、ご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、過日のご要望につきまして、下記のとおり回答申し上げます。

記

東京都では、西東京市内の測定として、6月16日に市内中央部である田無第二中学校校庭で測定を実施し、地表面（地上5cm）0.04マイクロシーベルト、地上1m0.04マイクロシーベルトという結果が公表されています。また、隣接する自治体も概ね0.04～0.08の範囲の数値となっており、都の見解は、都内全体について健康に影響を与える数値ではないとしています。

都によりますと、この地表面（地上5cm）の測定は、地面（土）に堆積または浸透しているセシウムなどの放射性物質からの放射線量を測定するもので、土壌の放射線量が測定されるということです。

また、学校のプールや公園の水場で使用する水は、東村山浄水場から配水されている水道水が使用されており、東村山浄水場の検査結果では放射性物質は検出されておりません。なお、大気中の放射線量が福島第一原発事故が起きる以前の数値範囲におさまっていることから、プールへの降雨の影響も微少であると考えられます。

一方、市では、市民の皆さまにより一層安心していただくため、市域全域を2kmの区画で区分し、公園や学校などを含む5つ場所（北部：栄小学校、東部：なかまち保育園、中央部：田無第二中学校、西部：田無第三中学校、南西部：田無市民公園）におい

て、6月29日より継続的に測定する予定です。また、武蔵野大学の協力を得て、武蔵野大学においても測定されます。これらの結果は、市ホームページで公表することにしていきます。

市域全体の状況を把握し、仮に測定値に大きな変化が見られた場合には、東京都などの専門機関と連携をとり必要な対策を図ってまいります。

市では、都や国の動向や情報を注視するとともに、教育委員会とも連携し、変化に応じて速やかな対応に努めてまいりますので、ご理解のほど宜しくお願いいたします。